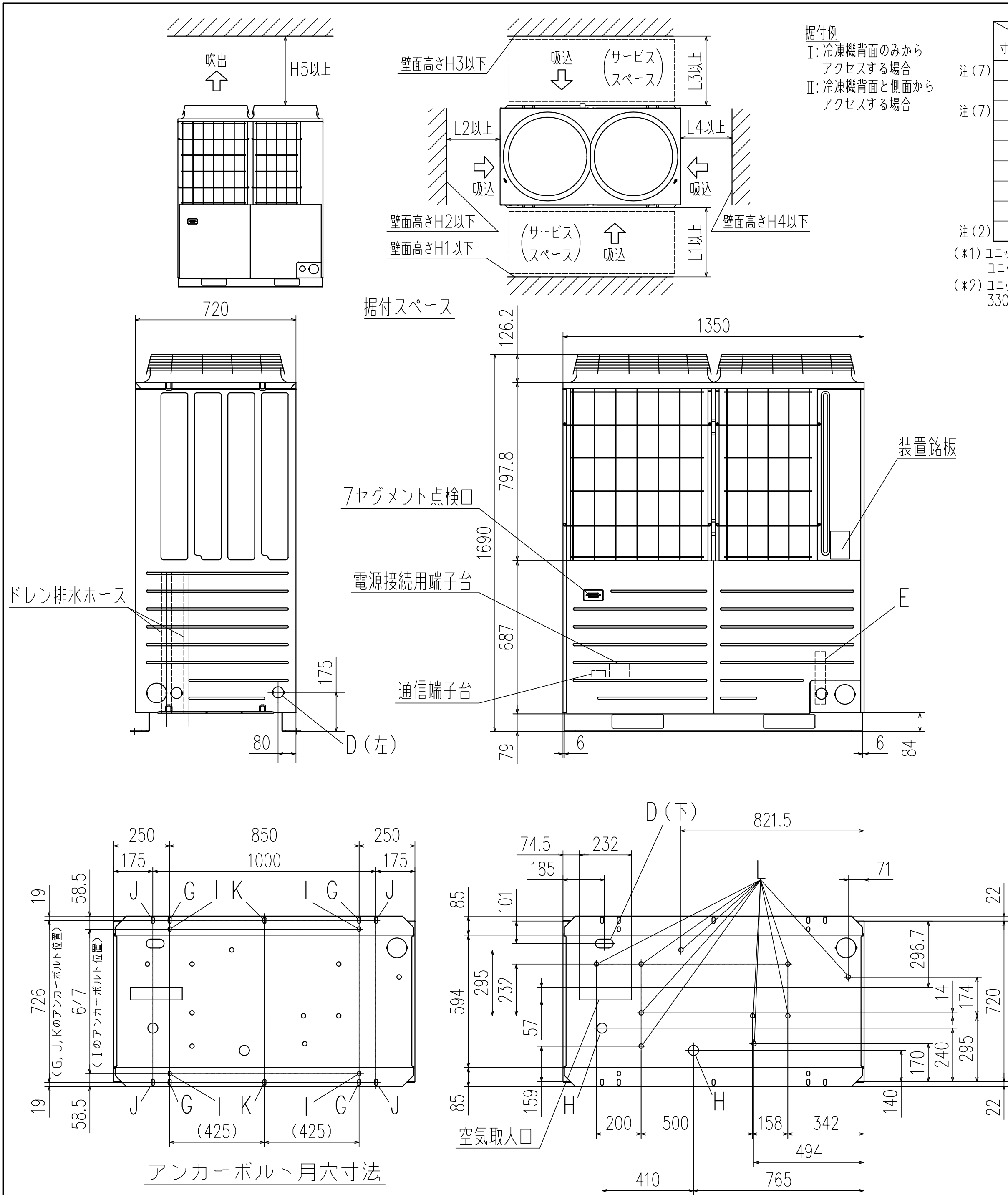




据付例
Ⅰ: 冷凍機背面のみから
アクセスする場合
Ⅱ: 冷凍機背面と側面から
アクセスする場合

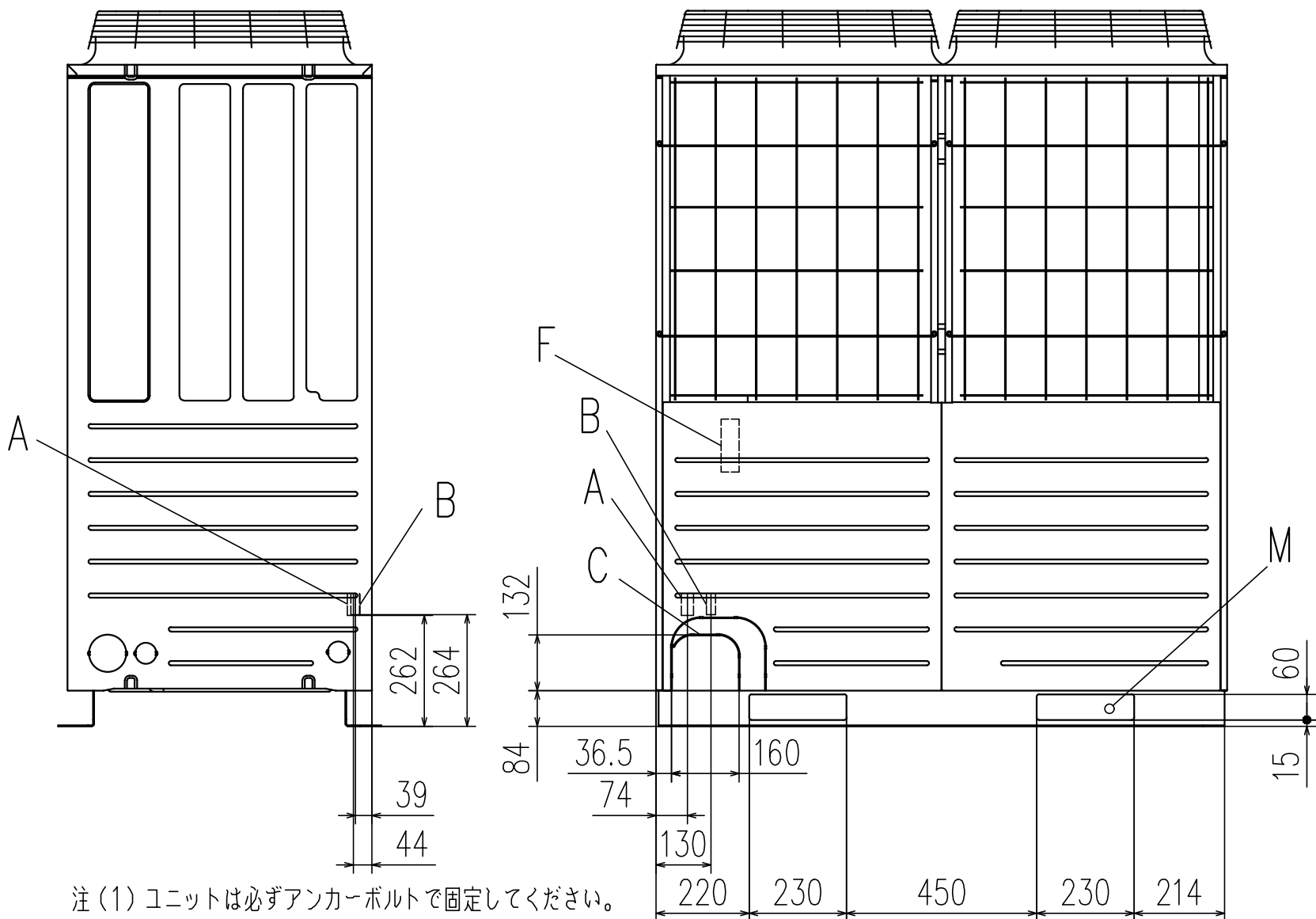
(単位: mm)

寸法	据付例	Ⅰ	Ⅱ
注(7)	L1	800	800
	L2	10 (*2)	10
注(7)	L3	800	500
	L4	100 (*1)	500
	H1	1500	1500
	H2	制限なし	制限なし
	H3	1000	1000
	H4	制限なし	制限なし
注(2)	H5	2000	2000

(*1) ユニットが壁面に接する場合は100mm以上必要ですが、
ユニットの連続設置時は10mmのスペースで設置可能です。
(*2) ユニットの連続設置で電源線をL2側から引き込む場合は、
330mmのスペースが必要です。

記号	内 容		
A	接続冷媒配管径	ガス側	φ19.05Xt1.4 (ろう付) ※
B		液側	φ12.7Xt1.0 (ろう付) ※
C	冷媒配管取出口		160X132
D	電源取入口	φ50 (左方向)	
		長穴40X80 (下方向)	
E	サービスポート (高圧, 中圧, オイルサービス)		—
F	サービスポート (低圧)		—
G	アンカーボルト用穴		M10用4ヶ所
H	ドレン排水ホース用穴		φ45, 2ヶ所
L	ドレン排水用穴		φ20, 10ヶ所
M	搬入、吊り下げ用穴		230X60

※配管肉厚はC1220T 1/2Hの場合を示します。



- 注(1) ユニットは必ずアンカーボルトで固定してください。
(2) ユニット上部には2m以上のスペースをとってください。
(屋根を設置する場合はユニット上部から2m以上離してください。)
(3) 冷媒配管 (ガス側、液側共) の接続は現地手配です。
(4) 冷媒配管取出口と電源取入口はハーフブランク形状になっています。ニップ等で切断しご使用ください。
(5) ユニットの固定に、記号J, Kのアンカーボルト用穴 (M10用10ヶ所) もご使用できます。
(6) 積雪が予想される地域では、吸込口、吹出口や底板下部が埋雪しないよう下記のような対策を行ってください。
① 積雪面より底板が高くなるよう室外機を架台の上に設置し、風がユニット下部を吹き抜けるようにしてください。
基礎は凍結深度より深く掘り下げてください。
② 吹出口に防雪フード (別売品) を取り付け。
③ 軒下に設置するか、雪除け屋根 (現地手配) を取り付けてください。
(7) 冷凍機の点検や部品交換のためには、サービススペースを確保する必要があります。
配管施工時は、サービススペースに干渉しないようにしてください。

適用機種		HCCV1001C, HCCVS1001C	
形 式		HCCV	
発行者	名 称	室外機外形図< OUTLINE >	
岡田	図 番	LCA000Z096	訂 符 業 別
240405			1 / 1